

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年2月20日

事業所名 こぼんはうさくら教室浜松丸塚東教室

保護者等数(児童数) 17名 回収数 17枚 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14			3	・広い部屋だと思います。 ・状況によって十分なスペースが確保できるような変化して工夫されている。	・その日ごとの活動や子どもの様子を見てスペースを確保していきたいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		4	・人数は大丈夫だと思うが、専門性は明確には良く分からないと思う。 ・他教室の専門の先生との関わりが薄い。	・定期的に職員紹介や資格を伝えていきたいです。また、専門的な支援についても分かりやすく説明していきたいです。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	2		3	・工夫されている。 ・おもちゃや絵本の片付けスペース・机・椅子の置き場所を示す看板があると良い。	・引き続き、環境作りを工夫していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	1		2	・新しい建物でとても良い環境で生活できていると思います。	・ありがとうございます。日々の清掃や除菌を始め維持できるよう努めます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	1		2	・子どもに必要な課題を理解して頂いて計画が作成されています。 ・支援計画は、とても分かりやすく作成されています。	・保護者様、関係機関と密に連携を図り、よりよい支援ができるように努めます。また、説明も保護者様が納得できるよう分かりやすく作成していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	2		2	・具体的な支援内容になっていると思います。	・誰にでもわかりやすく設定していきたいです。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	2		1	・支援計画の目標の1つが、母子分離ができるのだが、次の日に安心して来れるように「また明日ね」と帰る時声を掛けてくださって私も安心できています。	・ありがとうございます。 ・支援計画の目標は、全職員が共有をして日々振り返りしながら進めています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1		4	・イベントがあったりしている色々な体験ができて満足しています。	・祝日イベント毎回多くの利用者様が参加を下さりありがとうございます。 ・子ども達が楽しめる事や経験を積める場所になればいいと考えております。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5		2	10	・在園児はともかく、未就園児の交流の機会が少ない。	・交流する機会を作っていきたいです。
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1		1	・面談でしっかりと説明して頂きました。	・ありがとうございます。 ・分からないことや質問があればいつでも聞いて下さい。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	2	1	1	・契約の時や面談、支援計画のタイミング等で説明を受けました。	・引き続きガイドラインに基づきねらいや支援内容を全職員と共有したうえで説明をしていきたいです。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5	2	5	5	・口頭(面談)でのやりとりを希望している人に伝えられていれば良い。	・特に行ってこなかったで希望などを取る中で要望があれば取り入れていきたい。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1		1	・リズムにて活動内容等、報告を頂いております。できなかった事も教えて頂けると良いです。 ・送迎時にその日の様子やできるようになったことなど伝えてもらって嬉しいです。	・リズムでのやり取りはとても大切だと感じています。保護者様も日々様子や悩みなどを書いてくれてありがとうございます。 ・送迎時で顔を合せてお話しができる場合は、直接様子をお伝えしています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1		2	・助言はない。	・面談やリズム、送迎時のやり取りの中でお話しはさせてもらっています。面談は年に1度は必ずやっていますが、必要に応じてできますのでお声がけください。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	7	3	・開催されていないような気がします。来年度にあるのかなと思っています。 ・保護者同士の連携は1度もありませんが仕事をしているので今のままで大丈夫です。	・時に開催しておりません。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	1		2	・相談をした時に話を聞いて頂きました。子どもの様子が聞けて安心しました。 ・悩んでいることや心配事などを連絡帳に書くとお時間を取って下さって相談にのってもらって助かっています。 ・素早く対応して頂けるのでありがたいです。	・ありがとうございます。いつでもご相談ください。 ・リズムに書いて頂ければ、時間を調整してお話しすることも可能なので気軽に連絡ください。 ・ありがとうございます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1			・送迎時で仕事などで会えなくてもリズムや電話等で迅速に対応してくれている。	・送迎時等普段会える保護者以外の方は、なかなかお話しができていない。こちらから積極的にアプローチをし共有できるようにしていきたいです。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12		2	3	・インスタの更新を楽しみにしています。 ・自己評価はない。	・ありがとうございます。なるべく子ども達の様子を見て頂きたいので更新の頻度も少しずつ増やしていきたいです。 ・6月開所初めての自己評価です。近日中にホームページにアップされるのでご覧下さい。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	15	1		1	・されている	・個人情報は今まで通り、鍵付きロッカーに保管してあります。保護者の同意なく、個人情報を第三者へ伝えることはありません。
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14		1	2	・週2日利用の為、防災や災害についての訓練を受けられていないと記憶しています。 ・防犯マニュアル等がない。 ・入所の時にしっかりと説明を受けています。	・ありがとうございます。子どもによって曜日が違ってくるので曜日をずらして全員が一週り訓練ができるよう調整していきます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16			1	・ライン等で訓練の連絡等もされています。	・ありがとうございます。訓練時には、必ず公式ラインにて保護者様に発信しております。
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	13	4			・通所に対し後ろ向きになってしまっています。 ・笑顔で帰ってくるので安心しております。	・子どもが第一にこぼんに行きたい、楽しい場所にしてほしいと思います。また、保護者様も安心して預けられる場所、環境にしていきたいです。
	23 事業所の支援に満足しているか	15	2			・できることが増え、困りごとが減ってきました。 ・送迎して頂いて通うことができ、感謝です。 ・月謝を引落しやキャッシュレスにできるとよい。	・満足してもらえるよう日々振り返りをして職員間で共有して次の支援に繋げています。 ・活動や行事などを今以上に伝えていきます。

291 29 18 53

74%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こぼんはうすくら浜松丸塚東教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・広いスペースがあり、室内遊びも充分にできる。	・広い空間を活かして活動、支援をしていきたいと思えます。
	2 職員の配置数は適切であるか	5		・職員の配置は状況に合わせている。 ・児童、放デイ職員でフォローしあっている。 ・少ない時は、他事業所と連携している。	・職員が体調不良や有給休暇などで人数が少ない時は、同じ系列の事業所内で連携しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		・視覚的に分かりやすいように、絵やイラストで示している。 ・個人マークを使用し分かりやすくしている。 ・トイレ、児童用、放デイ用と分けている。	・室内の床と壁の間に銀色の板の取り付け部分があがって危険なのでスポンジとテープでとめた。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		子どもたちが帰った後は、毎日掃除、おもちゃなどの消毒を行っている。 ・広いスペースが確保されていて子どもたちが思い切り体を動かさ、活動できる。	・子どもたちが安心して過ごせるように日々、清掃、環境作りを務めています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	・全体の朝礼、児童・放デイ各々のミーティングと職員間で情報周知している。 ・面談やアンケートなどで話す機会がある。	・準備や掃除等が多く、職員間で話をする時間がゆっくりとれない。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・保護者よりの意見、意向をみんなで周知、共有し業務に反映している。 ・保護者向けのアンケートを実施している。	・保護者様のアンケート及び、送迎時、面談時など話をする機会が多々あるので業務改善に活かしていきたいと思えます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	・職員1人1人に自己評価をやってもらい各々の感じていること工夫していることを聞いている。 ホームページにて公開しています。	・ホームページで公開するだけでなく、今回の結果を職員間で周知徹底をしたり、同じ系列の事業所でも共有していきたいと思う。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	・第三者に外部評価してもらっています。	・評価結果を基に真摯に受け止め、業務改善に繋げていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・社内、社外研修に参加している。 ・研修の案内など張り出されている。	・研修に参加したら職員全体で共有し、話し合いが必要だと思う。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・サービス利用開始後、相談員さんからの情報共有。	・家庭、園、関係機関等、情報を共有して作成していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	・アセスメントツールを活用している。	・日々子どもたちの様子が変わってくるので定期的に、見直し、更新をしていきたい。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1	・保護者からの要望、意見を元に計画を作成している。具体的な支援については送迎時やリトムなどでも伝えていく。 ・面談や園訪問など連携しながら支援計画を作っている。	・職員にあまり浸透しきれていないところがある。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・絵カード、ジェスチャーなど工夫し、支援を行っている。	・毎日のことで忘れてしまうこともあるのでポイントをまとめた個々の用紙があると良い。
適切な支援の提供	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・職員各々が支援内容を考えている。 ・お互いに手伝えることがあつたら言って声を掛け合う。	・支援計画を共有している。また、分かりやすいように一覧にしていきたい。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・年齢や特性に合わせて工夫している。 ・週ごとに職員で話し合っている。	・活動プログラムは皆で話し合っている。行った活動は見返せるように保存していきたい。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	5		・朝学習では個別支援をしたり集団活動、外遊びなどを行っている。	・個別と集団はそれぞれ考え、週ごとに何をやるかを決めている。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・誰が見ても分かる様、ホワイトボードを使用し、役割分担がひと目でわかるようにしている。 ・終礼時や当日の朝礼時で確認している。	・前日の終礼、当日の朝礼で必ず話し合っています。また、変更事項は、口頭または、ホワイトボードに記載しています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		・毎日振り返りを行い、記録に残している。欠席の職員も必ず記録を確認している。 ・終礼に参加できなかった人も日報で確認できる。	・もう少し時間をかけて話し合いをすることで支援の質が上がると思う。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・日報に気付いた点など記入できる欄がある。	・日報はその日いない職員も次の出勤日に必ず確認するようになっていく。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・日々の終礼やミーティングで話す時間がある。	・職員間で必ず話し合う時間を作り質の高い、支援ができるように見直しをしていきます。
関係機関や保護	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・責任者が参加をし、共有してくれている。	・必ず2名以上の体制で参加できるようにしていく。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		・連携して支援できていると思う。	・療育に通っている子で療育で行っている活動を知り児童でも行うことでよりよい支援に繋がると思う。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5	・該当者なし	・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のあるお子様が今後繋がった場合は、しっかりと連携していきたい。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5	・該当者なし	・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のあるお子様が今後繋がった場合は、しっかりと連携していきたい。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・園訪問を行い、情報共有をしている。	・一年の中でもう少し多く、園訪問を行い、児童と園の連携を深めると良い。

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・今までの様子や支援内容の情報共有を行っている。 ・サポートかけはしートの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年年長児に対してサポートかけはしシートを作成し、小学校へ外向き情報を共有しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・責任者だけではなく、現場の職員も参加ができる機会を増やしていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所と交流することはある。公園などで地域の方がいる空間で遊んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場を増やしていきたいと思う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に参加をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でそういった活動があれば参加を考えてみたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話で口頭で伝えたり、リトムに記載し共通理解を図っている。 ・リトム、送迎時など支援計画を通じて課題について共通理解を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リトムでのやり取りもあるが、なかなか口頭、保護者と話す機会が少ないと思う。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・特に行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や送迎時、電話などで助言や相談はしているが、ベアトまではいいないと思う。必要なケースもあるので活用していきたい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・書面にて渡し、口頭説明も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より分かりやすく説明できるよう、心掛けます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容を確認してもらった後に同意を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容を分かりやすく説明することや保護者様の意見も充分に取り入れ納得ができるような物にしていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすい関係が構築できている。 ・リトム、送迎時などで話す機会に繋がっている。 ・悩み等は職員間で共有し、対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時などに少し話はあるがやはり、時間が気になってしまい多くは話せないで残念だと思ふ。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者間の交流はない。 ・年に一度保護者が参加でき交流できるイベントになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、保護者参加のイベントなどについて考えていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・相談や申し入れがあった時は、その都度時間を設けている。 ・相談があれば迅速に対応を心掛けている。また、共有もしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでもご相談下さい。なるべく迅速かつ丁寧な対応を心掛けます。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・顔は隠すなどの配慮をし、日々の活動、イベントなどインスタグラムで発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムの更新を増やしていきたいと思ふ。また、インスタをやっていないご家庭も別の手段を用いて発信していきたいと思ふ。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報施設されたロッカーに保管している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報施設されたロッカーで保管していません。処分の際はシュレッダーを使用し破壊をしています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から意見や相談等、言いやすい雰囲気作りを心掛けている。 ・外国籍の家庭にはリトムをローマ字で書いた「意思疎通できるよう配慮している」。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意思の疎通は心掛けていますが、偏りができていると思うので全保護者とできるように配慮して行きたいと思ふ。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを提案し快く承諾してもらっている。招待はしていないが地域住民には挨拶を心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流も可能であれば、開催していきたい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・委員会を設け実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者や責任者だけではなく、全員に共有を必ずしていきたい。また、定期的に見直していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・地震、津波、火災などを想定した訓練を行っている。引き渡し訓練も保護者に協力してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日によって来る、来ないがあるのでそこまですべて確認して全員が参加できる体制にしています。
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に確認している。変化があった時にはその都度伝えてもらうようにしている。 ・年4回行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一覧を作り職員間で共有している。また、現在はないがてんかん発作などは、事前に対応方法を練習しておきたい。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・事前に確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず契約時に確認をします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットのファイルを作成し共有している。 ・同じことがおきないように会議が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなヒヤリハットでも職員間で検証、共有することで二度と起こさないようになると思う。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待について振り返る機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待ではないが、職員間で不適切な言動や対応があった場合は必ず振り返るようにしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に十分な説明をし了解を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でやむを得ずの場合の共有がされることもっと質の高い支援に繋がると思う。